

第21回日本産婦人科・新生児血液学会 ご案内

会期：平成 23 年 6 月 10 日（金）・11 日（土）

会場：大阪国際会議場12 階

〒530-0005

大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3 - 51

TEL：06-4803-5555

会長：木 下 洋

関西医科大学附属枚方病院

総合周産期母子医療センター小児科 教授

H P：http://www.gco.co.jp/index.php

運営事務局（お問合せ先）

株式会社コンベンションリンクージ内

〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-19-3 PIAS TOWER 11F

TEL：06-6377-2188 FAX：06-6377-2075

E-mail：jsognh21@secretariat.ne.jp

ご挨拶

大震災と大津波で数多くの尊い命が一瞬にして奪われ、お亡くなりになりました方々のご冥福を会員一同心からお祈り申し上げます。

多くの医療機関が壊滅的な被災の中で、懸命の医療活動に従事していらっしゃる最中ではございますが、第21回日本産婦人科・新生児血液学会を大阪に於いて開催させていただくことになりました。

大震災による被災と原子炉事故とにより、東北・東日本の医療現場の対応は困難を極めておりますが、福島県立医科大学の大戸齊先生には「緊急時の輸血製剤の確保」について急遽ご講演をお願い申し上げ、大変な状況の中ご快諾いただきました事を厚く御礼申し上げます。

特別講演は関西医科大学第一内科学講座の野村昌作先生に、妊産婦の血小板機能について最新の知見をお話しいたします。周産期医療の現場で最も身近である、いわゆる「母乳性黄疸」と遺伝子変異について、滋賀医科大学医学部小児科の丸尾良浩先生のお話をいただき、東京慈恵会医科大学の星順隆先生には小児輸血に関連する最新の状況についてご講演いただきます。また、正期産児の頭蓋内出血の全国調査についての報告を奈良県立医科大学からいただき、産婦人科診療でのRSウイルス予防対策の周知については水上尚典先生のご司会をお願いいたしました。ビタミンKフォーラムでは大きく変更される新生児へのビタミンK投与方法について白幡聡先生にご講演いただきます。従来から広く行われてきた母子医療の身近な管理にも、新しい知見に基づいた管理方針の再評価が必要な時代であり、私達周産期医療の現場で大きな変更点が数々ございます。

本学会は、産婦人科医と新生児医療に携わる小児科医が集まって、同一フロアでそれぞれの立場から血液を語り、勉強できる機会と存じます。会場は大阪の中心地「中之島」にあり、6月は水都大阪の新緑が水面に美しく、京阪電車の起点と会場が直結して便利でございます。

大震災と原子炉事故に、日本中が心痛な思いで復興に取り組んでおります。大変な時期ではございますが、多数の会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第21回日本産婦人科・新生児血液学会

学術集会会長 木下 洋

会場へのアクセス



最寄り駅のご案内

- 京阪電車中之島線中之島（大阪国際会議場）駅
（2番出口すぐ）

近隣駅からバスをご利用の場合

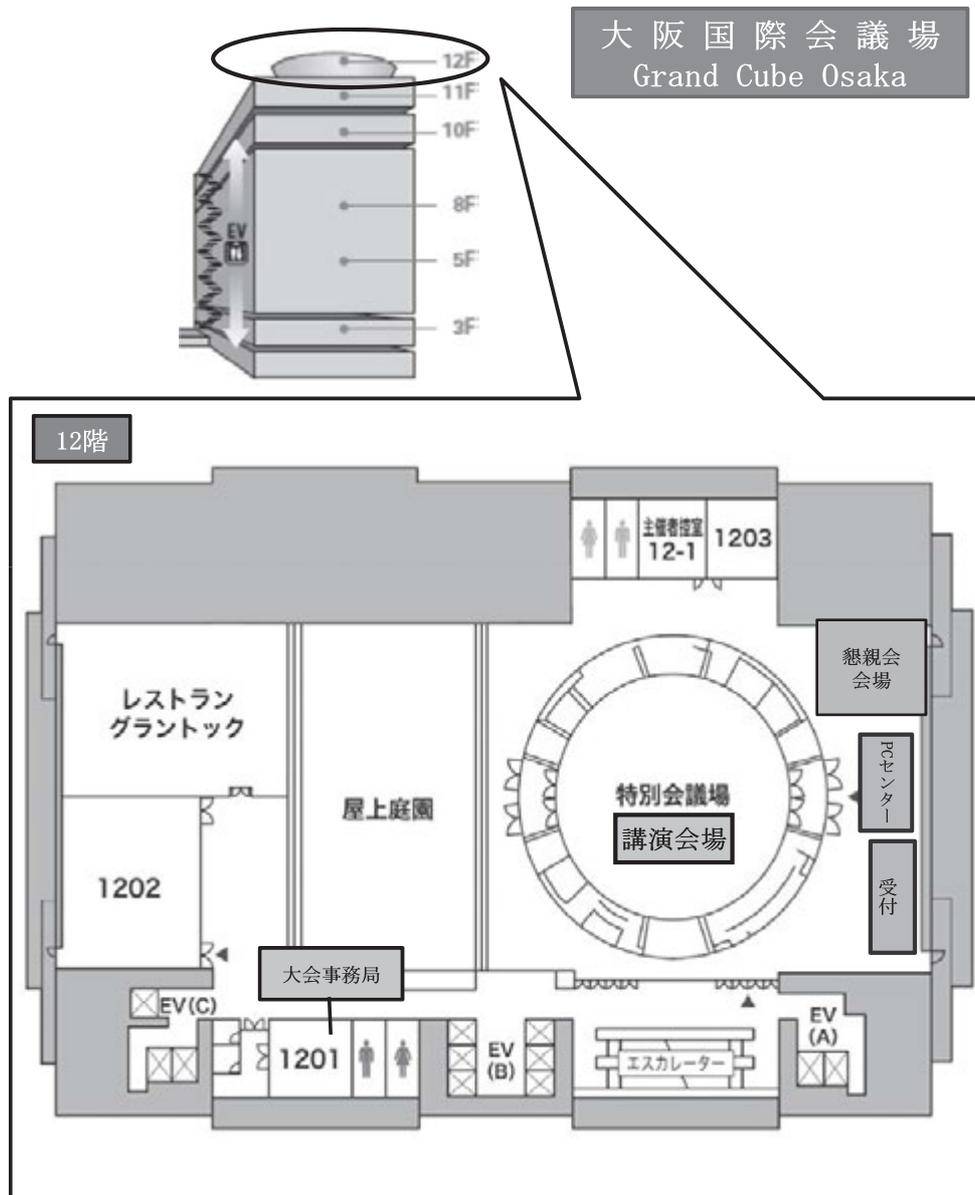
■大阪市バス

- ・JR大阪駅前バスターミナルより「船津橋」行に乗り、「堂島大橋」下車すぐ
- ・黄色2番のりば53系統「鶴町四丁目」行に乗り、「堂島大橋」下車すぐ
- ・黄色1番のりば55系統

■シャトルバス

「リーガロイヤルホテル」（当会議場東隣）とJR「大阪」駅西側（高架下）の間で運行しておりご利用いただけます。

会場ご案内



大阪国際会議場 12階

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

TEL : 06-4803-5555

参加者の皆様へ

【参加受付】

受付日時：6月10日（金） 8：00-18：00

6月11日（土） 8：00-12：00

受付場所：大阪国際会議場 12階 ホワイエ

参加登録費：8,000円

【参加証】

所属・氏名をご記入の上、会場内では必ずご着用下さい。

【抄録集】

学会員の方は、本号「学会抄録号」を忘れずにご持参下さい（会員の方で未着の場合は、当日、学会デスクにお申し出下さい）。

非会員の方および会員の方で抄録を複数冊必要な方には、当日受付にて1冊2,500円で販売いたします。

【学会単位】

本学会出席は、日本産科婦人科学会専門医（10単位）および日本小児科学会専門医資格更新のための基本単位（5単位）の対象になります。産婦人科の先生には専門医シール（10単位）が交付されますので、受付でお受け取り下さい。小児科の先生の5単位は、名札に印刷されておりますのでご利用下さい。

【懇親会】

日時：6月10日（金） 18：45-20：30

会場：大阪国際会議場 12階 ホワイエ

会費：無料

【ランチオンセミナー】

日時：6月10日（金） 12：15-13：00

会場：講演会場（特別会議場）

※会場前にて、お弁当をお受け取り下さい。

【学会入会費】

年会費8,000円の納入、新規入会手続きについても、当日学会デスクにて行います。

【会場内での呼び出し】

各会場内でのアナウンス及びサイドスクリーンによる呼び出しは行いません。参加者相互のご連絡等は、受付横の伝言板をご利用下さい。

【ご注意】

- 1) 会場内では携帯電話はマナーモードに設定していただくか、電源をお切り下さい。
- 2) 講演・発表中の会場内での写真・ビデオ撮影は固くお断りいたします。
- 3) 口演発表における質疑・討議は必ず座長の指示に従い、所属・氏名を告げてから発言して下さい。
- 4) 喫煙は1階プラザの喫煙コーナーでお願いいたします。こちらの指定場所を除いては、全館禁煙とさせていただきます。

発表要項

【座長の皆様へ】

ご担当のセッション開始 15 分前までに、会場内の次座長席へお越してください。
進行及び時間管理は座長に一任いたします。時間厳守の上、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

【講演発表の皆様へ】

一般演題（口演発表）：発表 7 分、討議 3 分（計 10 分）

特別講演、教育講演、緊急報告、ランチョンセミナーは、それぞれ講演時間と討論時間が異なります。各セッションをご参照ください。

※スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間は厳守して下さい。

- 1) 発表予定時間の 1 時間前までに、PC 発表用の媒体を、ホワイエの PC 受付へお持ち下さい。
- 2) 発表データはご自身のパソコン、CD-R または USB フラッシュメモリーでお持ち下さい。
- 3) 次演者の方は会場内の次演者席で待機をお願いいたします。
- 4) 発表終了時間 1 分前に黄色のランプが、発表終了時間に赤色のランプが点灯します。
- 5) USB メモリーをお持込の方への注意事項
(ア) ソフトは以下のものをご使用下さい。

Windows PowerPoint 2003/2007

* 動画ファイルをご使用の方、Macintosh をご使用の方は PC をお持込みください。

- (イ) フォントは OS 標準のもののみご使用ください。
 - (ウ) ファイル名は「演題番号_演者名.ppt」としてください。
 - (エ) 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願いいたします。
 - (オ) CD-R (RW 不可) への書き込みは、ISO9660 方式をお使いください。
* パケット方式ですと、会場 PC で読み込めない恐れがあります。
- 6) ノート PC をお持込みの方への注意事項
(ア) バックアップとして、必ずメディア (USB メモリ、CD-R) もご持参ください。
(イ) 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願いいたします。
(ウ) プロジェクターとの接続ケーブルの端子は、ミニ Dsub-15 ピンです。
PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。
(エ) スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
(オ) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。

第21回日本産婦人科・新生児血液学会 タイムスケジュール

第1日目 平成23年6月10日(金)

時間	大阪国際会議場 特別会議場
8:00	受付開始
9:00	開会の挨拶
9:10	一般演題1 (50分)「合併妊娠Ⅰ」 座長：前田 真 演者：①薄井 里英 ②鍵元 淳子 ③森川 守 ④西脇 哲二 ⑤西蔭 優子
10:00	一般演題2 (50分)「新生児止血」 座長：小山 典久 演者：⑥吉川 香代 ⑦唐川 修平 ⑧藤原 隆弘 ⑨丸茂智恵子 ⑩田島 浩子
10:50	一般演題3 (30分)「血小板(産婦人科)」 座長：安達 知子 演者：⑪種田 健司 ⑫山岸由起子 ⑬山下衣里子
11:20	教育講演1 (50分) 「新生児期の黄疸とビリルビンUDP-グルクロン酸 転移酵素(UGT1A1) 遺伝子変異」 座長：仁志田博司 演者：丸尾 良浩
12:10	休憩
12:15	ランチオンセミナー (45分)(協賛:アボットジャパン株式会社) 「Late Preterm 児におけるRS ウイルス感染への対応 ー産婦人科診療ガイドライン改訂の注意点ー」 座長：池ノ上 克 演者：大橋 敦
13:00	評議員会 (30分)
13:30	総会 (10分)
13:40	休憩
13:45	教育講演2 (60分) 「小児輸血療法に残された問題点」 座長：高橋 幸博 演者：星 順隆
14:45	休憩
15:00	特別講演 (60分) 「妊婦と血小板関連疾患」 座長：木下 洋 演者：野村 昌作
16:00	緊急報告講演 (50分) 「3.11 東日本大震災後の輸血血液製剤の確保」 座長：小林 隆夫 演者：大戸 斉
17:00	ビタミンKフォーラム (60分) (協賛: エーザイ株式会社) 座長：寺尾 俊彦 白幡 聡 演者：岡野登志夫 1.「ビタミンK の体内変換とその生物学的意義」 演者：白幡 聡 2.「新生児・乳児ビタミン欠乏性出血症に対するビタミン K製剤投与の改訂ガイドライン (修正版)」
18:00	移動
18:45	懇親会 大阪国際会議場 12階 ホワイエ

第2日目 平成23年6月11日(土)

時間	大阪国際会議場 特別会議場
8:00	受付開始
9:00	一般演題4 (50分)「合併妊娠Ⅱ」 座長：村田 雄二 演者：⑭桂木 真司 ⑮中山 真人 ⑯木村 聡 ⑰熊坂 諒大 ⑱大林伸太郎
9:50	一般演題 (60分)「新生児」 座長：白川 嘉継 演者：⑲井上 普介 ⑳黒柳 裕一 ㉑芥川 香奈 ㉒高橋 匡輝 ㉓土屋 浩史 ㉔大関 一裕
10:50	教育講演3 (30分) 「正期産児の特発性頭蓋内出血」 ー全国アンケート調査結果の解析ー 座長：沢田 健 演者：川口 千晴
11:20	教育講演4 (40分) 「SGAをめぐる諸問題 ～産科の先生方にぜひ知っ ておいていただきたいSGA児の問題点～」 (協賛：ノボルディスクファーマ株式会社) 座長：臼倉 幸宏 演者：河井 昌彦
12:00	閉会の挨拶

(表中敬称略)

■ 特別講演

特別講演 [平成23年6月10日(金) 15:00~16:00] S1-2

「妊婦と血小板関連疾患」

座長：関西医科大学附属枚方病院小児科 教授 木下 洋 先生
演者：関西医科大学 内科学第一講座 教授 野村 昌作 先生

緊急報告 [平成23年6月10日(金) 16:00~16:50] S3-4

「3.11 東日本大震災後の輸血血液製剤の確保」

座長：浜松医療センター病院長 小林 隆夫 先生
演者：福島県立医科大学 輸血・移植免疫学 教授 大戸 齊 先生

■ 教育講演

教育講演1 [平成23年6月10日(金) 11:20~12:10] S5-6

「新生児期の黄疸とビリルビン UDP-グルクロン酸転移酵素(UGT1A1)遺伝子変異」

座長：東京女子医科大学 名誉教授 仁志田博司 先生
演者：滋賀医科大学小児科 丸尾 良浩 先生

教育講演2 [平成23年6月10日(金) 13:45~14:45] S7-8

「小児輸血療法に残された問題点」

座長：奈良県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター 教授 高橋 幸博 先生
演者：(前) 東京慈恵会医科大学附属病院輸血部 教授 星 順隆 先生
(前) 小児輸血療法研究会代表世話人

教育講演3 [平成23年6月11日(土) 10:50~11:20] S9-10

「正期産児の特発性頭蓋内出血 -全国アンケート調査結果の解析-」

座長：東邦大学医療センター佐倉病院新生児センター 沢田 健 先生
演者：市立奈良病院小児科 川口 千晴 先生

教育講演4 [平成23年6月11日(土) 11:20~12:00] S11-12

「SGAをめぐる諸問題

～産科の先生方にぜひ知っておいていただきたいSGA児の問題点～」

座長：日本大学医学部小児科学講座 准教授 臼倉 幸宏 先生
演者：京都大学医学部附属病院 小児科 准教授 河井 昌彦 先生
協賛：ノボノルディスクファーマ株式会社

■ ランションセミナー

ランションセミナー [平成23年6月10日(金) 12:15~13:00]

S13-14

「Late Preterm 児におけるRSウイルス感染への対応 —産婦人科診療ガイドライン改訂の注意点—」

座長：宮崎大学医学部附属病院 院長 池ノ上 克 先生

演者：関西医科大学小児科学講座 講師 大橋 敦 先生

協賛：アボットジャパン株式会社

■ ビタミンKフォーラム

[平成23年6月10日(金) 17:00~18:00]

座長：浜松医科大学 名誉教授 寺尾 俊彦 先生

北九州八幡東病院病院長 白幡 聡 先生

協賛：エーザイ株式会社

1. 「ビタミンKの体内変換とその生物学的意義」

演者：神戸薬科大学 教授 岡野登志夫 先生

2. 「新生児・乳児ビタミン欠乏性出血症に対するビタミンK 製剤投与の改訂ガイドライン（修正版）」

演者：北九州八幡東病院病院長 白幡 聡 先生

■一般口演 平成23年6月10日（金）

（敬称略）
（施設名簡略化）

座 長	演 題 番 号	演 者		所 属	ペー ジ
		演 題 名			
一般演題1 合併妊娠 I 9:10～10:00					
前田 真 三重県 中央医療センター 産婦人科部長	1	薄井 里英	自治医科大学 産婦人科		S15-16
		当科における先天性血栓性素因合併妊婦の妊娠分娩管理			
	2	鍵元 淳子	医療法人あかね会 土谷総合病院 産婦人科		S17-18
		血栓症既往のあるプロテイン S 欠乏症合併妊娠の1例			
	3	森川 守	北海道大学病院 産科・周産母子センター		S19-20
帝王切開術施行前後における D-dimer 値の正常域の検討－第2報					
4	西脇 哲二	千葉市立青葉病院 産婦人科		S21-22	
	帝王切開後に頭蓋内硬膜下膿瘍をきたした骨髄異形成症候群合併妊娠の1例				
5	西蔦 優子	母子愛育会総合母子保健センター愛育病院 産婦人科		S23-24	
	帝王切開6日後にくも膜下出血を発症した1例				
一般演題2 新生児止血 10:00～10:50					
小山 典久 豊橋市民病院 新生児医療センター 小児科部長	6	吉川 香代	日本大学 医学部 小児科学系 小児科学分野		S25-26
		当院での過去10年間の特発性血小板減少症合併母体より出生した児の検討			
	7	唐川 修平	広島大学病院 小児科		S27-28
		血小板減少合併妊娠にて出生した児の血小板数の検討			
	8	藤原 隆弘	淀川キリスト教病院 小児科		S29-30
同種免疫性新生児血小板減少症（NAIT）の7例－SGA児を中心とした検討－					
9	丸茂智恵子	京都大学医学部附属病院 新生児集中治療部		S31-32	
	消化管出血のコントロールに難渋した diffuse neonatal hemangiomatosis の1例				
10	田島 浩子	浜松医療センター 周産期センター		S33-34	
	新生児に対するビタミンK製剤の予防投与とヘパプラスチンテストの有用性に関する検討				
一般演題3 血小板（産婦人科） 10:50～11:20					
安達 知子 愛育病院産婦人科 部長	11	種田 健司	福井赤十字病院 産婦人科		S35-36
		血小板輸血アレルギーを伴った重症妊娠性血小板減少症の1例			
	12	山岸由起子	信州大学 医学部 産婦人科		S37-38
ステロイド無効の特発性血小板減少性紫斑病に対し、腹腔鏡下脾臓摘出を行った1例					
13	山下衣里子	関西医科大学附属枚方病院 産婦人科		S39-40	
	妊娠を契機に発症した後天性血栓性血小板減少性紫斑病の1例				

■一般口演 平成23年6月11日（土）

座 長	演 題 番 号	演 者		所 属	ペー ジ
		演 題 名			
一般演題 4 合併妊娠Ⅱ 9:00～9:50					
村田 雄二 ベルランド病院 院長	14	桂木 真司	国立循環器病研究センター 周産期・婦人科		S41-42
		子癇に対する硫酸マグネシウム投与にて急性の高マグネシウム血症と呼吸停止をきたした症例			
	15	中山 真人	埼玉医科大学 産科婦人科		S43-44
		病理解剖により羊水塞栓症と診断しえた血中 Zn-CP, STN 陰性産婦の1例			
	16	木村 聡	木村産科婦人科／浜松医科大学 産婦人科		S45-46
		2010年羊水塞栓症登録事業のまとめ～心肺虚脱初発群と出血DIC初発群の血清マーカーおよび患者背景の比較検討～			
17	熊坂 諒大	弘前大学大学院 医学研究科 産科婦人科学講座		S47-48	
	Acinetobacter baumannii による敗血症からDICに至った重症妊娠悪阻症例				
18	大林伸太郎	名古屋市立大学大学院 医学研究科 産科婦人科学		S49-50	
	不育症（習慣流産）病態におけるシステインプロテアーゼの役割				
一般演題 5 新生児 9:50～10:50					
白川 嘉継 福岡新水巻病院 小児科 部長	19	井上 普介	九州大学大学院 医学研究院 成長発達医学		S51-52
		早産児慢性疾患における neutrophil gelatinase-associated lipocalin (NGAL)の検討			
	20	黒柳 裕一	関西医科大学 小児科学講座		S53-54
		新生児好中球遊走能についての検討－新たな細胞動態解析装置を用いて－			
	21	芥川 香奈	日本大学 医学部小児科学系 小児科学分野		S55-56
		胃全摘術後の母体から出生し完全母乳栄養によりビタミン B12 欠乏性貧血を呈した1例			
	22	高橋 匡輝	武蔵野赤十字病院 新生児科/武蔵野赤十字病院 小児科		S57-58
		メトヘモグロビンの上昇に引き続き急激な溶血性黄疸・貧血をきたしたLate-preterm児の1例			
23	土屋 浩史	市立豊中病院 小児科		S59-60	
	ABO 血液型不適合により重症黄疸に至ったグルコース 6 リン酸脱水素酵素異常症の1例				
24	大関 一裕	東京都立大塚病院 新生児科		S61-62	
	当科で経験した重症新生児血友病 A の2症例				